

# 境峠断層の焼岳北方延長

加賀 匠・原山 智 (信州大・理)

## ○境峠断層とは

境峠断層は長野県西部に位置し、断層の主要部は、長野県松本市安曇地域から松本市奈川を通り、木曽郡木祖村に至る北西-南東ないし北北西-南南東方向の左横ずれ活断層で、全体の長さは約 50km におよぶ。境峠断層の主部にあたる松本市安曇から木曽郡木祖村については盛んに研究が行われている(狩野ほか, 2002)。



## ○研究内容

北方延長については常木 (2011MS)により境峠断層は安房峠、中の湯温泉まで確認されている(図1実線)が、さらにその北方延長について研究は進んでいない。そのため、本研究は境峠断層の焼岳北方延長について研究した。地表踏査を行った結果、断層や断層粘土、断層活動に伴う破碎帯を発見した(図1 実線)。この断層は境峠断層と同じ左横ずれセンスが卓越し、第四系を切る活断層である。境峠断層が焼岳北方へ延長していることを示すと考えられる。

図1 梓川沿いの境峠断層と焼岳北方への延長

破線部は定断層を表す。  
焼岳周辺は火山噴出物に被覆され断層は確認できない。